

作物班

○集落営農組織の運営基盤強化支援



管内にはいくつかの集落営農法人が立ち上がっていますが、そのうち5つの法人を対象に支援を行いました。支援内容は、個々により状況が異なり一様ではありませんが、収量や品質向上、経営の多角化、低コスト・省力化などについて支援を行いました。

また、意向のある集落に対して、集落営農に関する説明会を開催し、琴浦町で2集落営農組織が出来ました。

【写真：（農）立子、人と農地の話合い】

○水稲「きぬむすめ」の収益性向上



「きぬむすめ」はご飯の食味がとても良く、県としてブランド化を進めており、管内でも近年栽培が急増しています。水管理や適期収穫の推進などにより、その品質・収量向上を図りました。また、同品種の環境に優しい栽培法（再生紙マルチ稲作）に取り組んでいる「東伯有機米部会」の活動を支援し、安心・安全な米作りの推進を行いました。

【写真：東伯有機米生産部生育調査の様子】

○飼料用稲・飼料用米の生産支援



飼料用稲は、畜産農家と栽培農家の契約により、取り組まれました。関係機関との連携により栽培地区ごとに品種を選定し、飼料価値を保つための適期収穫を支援しました。

飼料米は、収量が低い状況であったので、増収実証圃や指導会により、基準収量達成農家率が向上する結果を得られました。

【写真：飼料稲の収穫作業】